

報道関係者各位

一般社団法人医薬教育倫理協会

医師はどのような学習形態を求めているか — 働き方改革の施行前に AMEE が実態を調査 —

一般社団法人医薬教育倫理協会（AMEE：Association of Medical Education and Ethics、代表理事：北村聖、以下、AMEE）¹⁾ は、236名の医師から回答を得た医師継続教育²⁾に関するアンケート調査結果を取りまとめ、本日 Web サイトに公開しました。

<https://www.amee.or.jp/report/231019/>

● 背景

医師の長時間労働や労務管理の不十分さ、業務の集中などの改善を目指して、厚生労働省は2024年4月から新制度を施行します（医師の働き方改革³⁾）。医師に対する教育支援事業を行う AMEE は、その学習が自己研鑽に該当するか否かにかかわらず新制度の理念に則り、より効果的かつ効率的な教育プログラムを提供することで医師個人の負担軽減、ひいては医療の質の向上を通じて国民の健康増進に寄与したいと考えています。そのためには、医師の学習に関する現在の実態を把握する必要があると考え、今回のアンケート調査を実施しました。

● 方法

- 調査設計は株式会社協和企画⁴⁾が担当し、株式会社インテージヘルスケアが提供する Web アンケートサービス「TenQuick」⁵⁾を用いて実施しました。
- 2023年6月16日～20日まで、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腫瘍内科の40歳以上の医師を対象としました。診療科は、AMEEの教育プログラムの実施歴を考慮して決定しました。
- 各設問では、該当する尺度を選び、実施前に設定した加重ポイントによる重みづけを加えて数値化しました。
- 学術団体が専門医資格単位を付与する目的で行うセミナーなどは、医師継続教育の範囲から除外しました。

● 主な結果と考察の要旨

- ①：月2回以上など、「製薬企業が主催/共催で提供するセミナー（Webでの実施を含む）」の利用が最も多かった。
- ②：プログラムの配信については、「いつでもどこでも何度でも受講できる形式（オンデマンド）での提供」を求める声が多く、リアルタイム配信プログラムが多いと思われる現状に対して不便さを感じている医師の実態がうかがい知れた。

Q①：医師継続教育に関する以下のプログラムについて、それぞれ、先生のご利用状況をお知らせください。

	月に2回以上	月に1回程度	2か月に1回程度	3～4か月に1回程度	6か月に1回程度	年に1回程度	利用していない (左記より少ない)	ポイント計
加重ポイント	24	12	6	3	2	1	0	
勤務先の施設で提供される確認テスト (Webでの実施を含む)	240	288	72	54	44	39	0	737
医師会(都道府県/群市区/全国)が提供する生涯教育講座 (Webでの実施を含む)	288	204	30	27	54	36	0	639
製薬企業が主催/共催で提供するセミナー (Webでの実施を含む)	1,776	552	132	45	40	12	0	2,557
独立・非営利型教育団体が主催/共催で提供するインターネット教育プログラム	192	204	66	33	38	28	0	561

Q②：医師継続教育プログラムに関して、プログラムの内容とは別に、以下の条件はどの程度必要であると感じますか。

	必要	ある程度必要	あまり必要ではない	必要ではない	どちらとも言えない/ わからない	ポイント計
加重ポイント	2	1	-1	-2	0	
制度化されており、修了 認証 やその証明としての 単位 などが得られること	60	112	-41	-86	0	45
ポイント などの インセンティブ が得られること	94	106	-47	-42	0	111
いつでもどこでも何度でも受講できる形式（ オンデマンド ）での提供	182	112	-24	-12	0	258
現状よりもっと 適正な受講時間 （長すぎず・短すぎず）であること	122	131	-28	-12	0	213
質疑応答の機会が十分あること、他者との 接触機会 が設けられていること	32	108	-76	-50	0	14
確認テストがあるなど、もっと自身の 学習効果 が判定・ 確認 （他者比較も含めて）できること	32	111	-63	-62	0	18
他の 医師 や他の 施設 の 考え や 取り組み をもっと知ることができること	46	129	-54	-32	0	89
患者 や 家族 の 考え や 悩み をもっと知ることができること	52	118	-58	-36	0	76

・AMEE は、医師継続教育プログラムの提供などを通じて、これからも医療提供者の最先端情報の取得と技能の維持によってもたらされる医療の質の向上に貢献するとともに、患者さんや地域社会の健康増進に貢献してまいります。

本調査結果の内容や AMEE の事業に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

一般社団法人医薬教育倫理協会（AMEE）事務局 担当：廣田 孝一

info@amee.or.jp

- 1) 一般社団法人医薬教育倫理協会（AMEE、代表理事：北村聖、理事：寺本民生、近藤太郎、<https://www.amee.or.jp/>）は非営利型の一般社団法人で、医療倫理に基づき、高度な医学の継続教育を医師に提供することを通じて、医療の向上と国民の健康増進に寄与することを目的に 2016 年 8 月に設立されました。医薬に関する教育支援事業のほか、医薬品・医療機器のプロモーションに関するコンプライアンス支援事業や医薬の開発に関する研究支援事業などを行っています。
- 2) 「医師は、日進月歩の医学、医療を実践するために、生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽」（日本医師会生涯教育 on-line より）しています。多用な中でも、学習の機会を創出するよう努力している実態があります。
- 3) 医師の働き方改革については、厚生労働省 Web サイトに特設ページが設けられています。上長の命令がない自己学習や症例見学、参加任意の勉強会・カンファレンスは自己研鑽とされ、労働時間には計上しないことが基本となっています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/ishi-hatarakikata_34355.html
- 4) AMEE に対して、株式会社協和企画は基金の一部を提供し、活動を支援しています。株式会社協和企画については、Web サイトをご覧ください。 <https://www.kk-kyowa.co.jp/>
- 5) 最大 15 問までの医療と健康に関する課題を調査する簡易 Web アンケートサービスで、医師を含む医療従事者（薬剤師、看護師など）を対象とした調査が可能です。調査票確定から、最短では 4 営業日後にローデータの納品が可能であることなど、調査完了の早さも特徴の一つです。「TenQuick」を提供する株式会社インテージヘルスケアは株式会社協和企画とともにインテージグループで、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。